

## まん延防止等重点措置終了の考え方について

### 【3月4日 基本的対処方針分科会】

- ①新規陽性者数（7日間平均）の今週先週比が継続して1.0を下回っているか、低位の水準にあること
- ②病床使用率が概ね50%を下回っており下降傾向にあるか、50%に向けて安定的に下降していること
- ③重症病床使用率が概ね50%を下回っていること
- ④自宅療養者数と療養等調整中の者の合計が下降傾向にあること

※今後の重点措置終了については、該当団体の特性(例：人口規模や医療提供体制等)や全国的な感染状況等を踏まえ、新規感染者数や医療の負荷の状況を見て、総合的に判断する。

### 【3月11日 新型コロナウイルス感染症対策分科会】

- ①新規陽性者数が微増傾向又は高止まりしていても、病床使用率が低下し、医療への負荷が低下する見込みであれば終了。
- ②病床使用率、重症病床使用率が50%を超えていても、急激な増加が見られず、かつ、新規陽性者数が減少傾向であり、今後、病床使用率、重症病床使用率が減少し、医療への負荷が低下する見込みであれば終了。
- ③逆に、病床使用率、重症病床使用率が50%を超えて、増加傾向にあるときは、終了すべきではない。